

オールフラッシュストレージの特徴 その1

オールフラッシュストレージはただ速いだけではありません。高パフォーマンスの提供はもちろんのこと、その他さまざまな特徴を持っています。

高パフォーマンスを提供。

<一般的なパフォーマンス指標>

- ・レイテンシ：1ms以下
- ・IOPS：数万IOPS以上

特にランダムIOについては、HDDと比較し高いポテンシャルを保有。

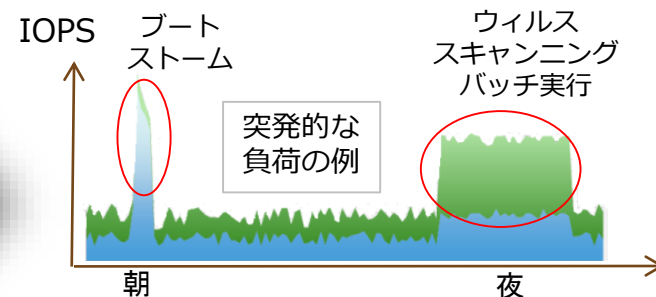


事例1：バッチ処理時間を**最大45%**短縮
(252分→139分)

- ・多くのジョブでバッチ処理時間を短縮
- ・SAP操作の平均応答時間も39%改善

事例2：バッチ処理時間を**最大70%**短縮
(439分→115分)

採用しているSSDは、単体でも高ポテンシャルを秘めており、例えば、VDIで抱えるブートストーム問題のような一時的に発生する突発的な高負荷にも対応



このような一時的な高負荷対策にも効果大

オールフラッシュストレージは稼働部品を持つHDDを一切利用していないため、故障しにくい特性を保有。



例

ワールドワイドでSSD10万個出荷に対し、故障による交換は**数個**

Dell EMCのオールフラッシュストレージをベースとした～2015年のデータです。